

災害レスキュー!!!

ピース✌️レンジャー



コンセプト


現在、世界では地震や、地球温暖化による異常気象が起こっている。そして、台風・大雨による、洪水・土砂崩れなどの自然災害が多く起こっている。その被害による膨大な損害額が懸念されている。災害に様々な寄付金が贈られているが、まだまだ寄付金が足りないのが現状である。

そこで…

誰もが行う生活行為の買い物に着目しました!!

仕組み

☆まず、主となる**レスキューセンター**を置く→災害援助に協力してくれる会社を集める

- ①**協力会社**の商品にマークを付けてもらう 
- ②**消費者**が買う
- ③その商品の1ヶ月の総売上の1%の金額を**協力会社**は**レスキューセンター**に寄付
- ④そのお金を**レスキューセンター**でためる
- ⑤災害が起こった時にセンターの社員が被災地に行き、調査・援助を行なう
- ⑥援助の公開（インターネット・CMなど）

消費者（援助者）

1

協力会社

2

レスキューセンター

3

被災地

お金の動き



援助の具体的な数値

定価100円の物を1ヶ月、3500万人（全国の4分の1の人）が買うと、総売上の1%である約3500万円が**レスキューセンター**に寄付される→60世帯（1世帯4人）を1ヶ月援助できる（食料・ブランケット・使い捨てカイロなど）



3500万人



買う



定価100円



1



協力会社

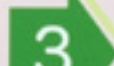


¥3500万円



2

レスキューセンター



3



1ヶ月援助できる



ブランケット

商品につけるマークについて (由来)

レンジャーマーク

- ・ 5人のピースレンジャーのキャラクターがマークになるからレンジャーマーク。

ピースレンジャー

- ・ 災害が起きた時に援助して、みんなが笑ってピースできるようにしたいから。



お菓子・食品・飲み物・日用品・文房具のそれぞれが地震、洪水などの自然災害を援助する。それぞれの災害に対して、集まったお金は、貯めておく。→それぞれの災害にすぐ対応できる。



お菓子



地震を援助



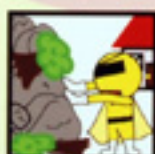
食品



洪水を援助



飲み物



土砂を援助



日用品



津波を援助



文房具



積雪・台風を援助

(被災地での食料・建物の修繕費・道路などの修繕費になる)

協力会社の利点

- *マークを付けることで、災害援助に貢献しているという宣伝ができること。
- *お客さんが、災害援助に協力しようとマーク付きの商品を買うこと。
 - ・商品を買ってもらうためにマークを集めて懸賞に応募できるシステムをつくる。

協力会社の売り上げ
が上昇する。

レンジャーマークを採用すれば…

- *誰でも思い立てば簡単にできる。
- *貯金をしておくことで、被災者となったら自分にも返ってくる。
- *レスキューセンターの社員が現場に行くため、現状を把握でき、被災者の要望にすぐ対応できる。
- *災害別に収集しているため、それぞれの災害にすぐ対応できる。
- *情報公開をしているため、人々から信頼を得ることができる。



まとめ

*私たちが提案したレンジャーマークを採用することによって、より多くの人々が災害援助に協力することができ、多くの人々の役に立つことができると思います。

また、自然災害に関心を持つ人が増えてくるのではないかと思います。それは、地球温暖化を抑制することができ、

人々が笑って、ピースできる世界につながるのです。

